

# 金時山ハイキング&仙石原ススキ草原散策

開催日：2025年10月12日（日） 小雨のち曇り 健脚レベル2 17000歩 約10km

集合：箱根登山鉄道箱根湯本駅8時45分

コース：箱根湯本駅バス停（9時00分発）→金時神社入口バス停（標高690m）→金時山登山口駐車場  
→公時神社→金時宿り石→分岐→箱根外輪縦走コース→金時山（標高1212m 昼食）→  
箱根外輪縦走コース→矢倉沢峠→矢倉沢峠コース→金時登山口（標高670m）→  
仙石原ススキ草原→仙石高原バス停（標高660m）（バス）→小田原駅

参加者：市村L 河野SL 飯倉SL 勅使河原 熊坂 山田 高津佐 亀田 稲葉 計9名

金時山は標高1212m、箱根外輪山では最も高い山です。山頂からは富士山などが眺望できますが、この日の金時山山頂は霧のために姿を見せてくれませんでした。下山してからは神奈川の景勝50選「秋の仙石原ススキ草原」を散策。銀色にキラキラと輝く穂が風に揺れていました。

10月11日予定の「金時山ハイキング&仙石原ススキ草原散策」でしたが、箱根町の気象情報が「曇り一時雨」のため12日に延期して実施しました。12日の箱根町の気象情報は、日中曇り、最高気温26.5℃、湿度高く70~80%でした。金時山の気象情報は、最高気温20℃、台風の影響で風速9m/s前後となっていました。ところがバスを降りたら小雨、ストレッチをしてスタートしてからは小ぬか雨状態。下山途中で霧が晴れて、台ヶ岳と仙石原ススキ草原が一望できたときは感動倍増でした。上りの金時神社コースは幻想的なハイキング、分岐からの外輪縦走コースの上り下りはハイカーの多い金時山健脚レベル2ハイキング。「幻想的な景観や静寂を楽しめる小雨の登山」（高津佐さん）、思い出に残るハイキングでした。



# 金時神社入口バス停～駐車場10時00分～公時神社

バスは箱根湯本駅バス停3番線から出ます。台風23号の影響で前日が雨のため、この日に変更したと思われる観光客やハイカーがバス待ちでかなり並んでいます。小田原発桃源台行きのバスは1時間に4本から6本出ていますが、私たちが乗る御殿場方面は、朝の3本しかありません。9時発の箱根湯本駅始発バスに乗車、全員着席できました。バスは順調に走って9時35分に金時神社入口バス停へ到着、なんと小雨が降っています。道路を横切り公時神社へ向かいます。道標に「金時山まで75分」と表示されています。私たちのウォーキングクラブではこのタイムで上るには無理があります。この日の設定タイムは60歳標準コースタイム100分の2割増しの120分、道標タイムの1.67倍で設定しました。駐車場のトイレのところでレインウェアを着用、河野サブリーダーのリードでストレッチ。市村リーダーがコース説明をして10時丁度にスタート、公時神社境内へ入ります。公時神社の御祭神は坂田公時、平安後期の武将源頼光の四天王の一人です。幼名を金太郎といい、怪力の持ち主で熊と相撲をとったと童謡にあります。



# 公時神社～10時25分金時宿り石～小雨に煙る上り道

公時神社境内の脇から出て、緩やかな上りの木段の山道を上って行きます。何組かのグループが前後を歩いています。自動車道を横切ると石がゴロゴロの道になり、勾配も少し急になり汗ばんできました。10時25分、直径約20m、岩の中央が真っ二つに割れている金時宿り石の下に到着。宿り石は「かつて金太郎が眼病を患い、母親の山姥と近くの姥子温泉に湯治していた折に仮住まいしていたとされる場所です。衣類調整と水分補給をして、宿り石を巻くように急階段を上っていきます。軽装の外国人グループが小雨に煙る上り道で追い抜いていきました。宿り石から15分ほど上って平坦なところで小休憩、汗が噴き出てきます。



## 11時10分 分岐～11時36分 金時山山頂(標高1212m)

晴れていれば台ヶ岳と仙石原スキ原が見えるのですが、霧に煙っていて視界不良です。11時10分、箱根外輪縦走コースの分岐へ出て小休憩。水分補給をして、岩場もある急騰にチャレンジです。先行グループは3人(高津佐、亀田、稲葉さん)。中盤グループ4人(河野、山田、勅使河原さんと市村)は11時36分に標高1212mの金時山山頂に到着。60歳標準コースタイム100分よりも4分早い96分で山頂に到着してしまいました。80歳代半ばの勅使河原さんの健脚ぶりは凄いです。続いてお花鑑賞をして上って来た2人(熊坂、飯倉さん)も到着。トイレのチップは今春、100円から200円に値上げされていました。山頂は突風が吹いていて厳しい寒さ、「金時娘の茶屋」に駆け込み、ストーブが焚かれた茶屋の中は暖かくほっと一息。茶屋内は満員でしたが奥のテーブル席を確保。なめこ汁(600円)を注文、持参のおにぎりなどで昼食タイム。なめこの量の多さにビックリしながらも身体の中からも温まることができました。



## 金時山 | 2時25分～分岐～箱根外輪縦走コース～雨上がる

金時山山頂には二つの標柱があります。この日は箱根町の登山愛好家が2017年に建てたマサカリ標柱を挟んで登頂記念撮影、右奥に静岡県小山市側の白い標柱が見えます。二つの標柱は、富士山を背景に絶好の撮影ポイントですが、富士山は霧の中でした。河野サブリーダーを先頭に12時45分、吹きさらしの山頂から下山開始です。上って来た急峻な道を注意深く下りて、公時神社分岐で小休憩。この間、木々に遮られて風の影響は受けませんでした。雨が止んだので、みなさんレインウェアを脱いで箱根外輪縦走コースを下山です。分岐から10分ぐらい下りて来たところで霧が晴れ、仙石原スキ草原が一望できました。



# 矢倉沢峠～矢倉沢峠コース～金時登山口～仙石原ススキ草原

矢倉沢峠のうぐいす茶屋跡まで下りてきて小休憩。左へ行けば明神ヶ岳へ向かう箱根外輪縦走コース、右の矢倉沢峠コースで下山です。20分ほど下って舗装道路に出て、緩やかな坂道をゆったりウォーキング。前方の台ヶ岳の山頂も見えるようになってきました。13時45分、金時登山口へ下山しました。汚れた靴を備え付けのブラシで水洗い、トイレ休憩をして14時丁度、ススキ草原をめざしてスタート。50分ほど歩いたところで、銀色にキラキラと輝く仙石原ススキ草原が見えてきました。



## ススキ草原散策～仙石高原バス停 歩数1万7000歩 距離10km

金時登山口からの40分コースを55分かかってしまいましたが仙石高原入口へ到着、記念写真をパチリ。緩やかな坂道のススキ原を散策、多くの観光客が風になびく銀色のススキの秋を楽しんでいました。上ってきた道に戻り仙石高原バス停へ、歩数1万7000歩、距離10kmでした。15時16分発のバスが4分遅れて15時20分に到着。いつもながら出山バス停あたりから箱根湯本駅までが大渋滞、箱根湯本駅バス停二つ手前の塔ノ沢バス停で降りて、箱根湯本駅へ徒歩で向かう人も大勢いました。箱根湯本駅を過ぎてかは通常の走行でしたが、16時15分小田原駅に到着予定が50分遅れの17時05分の到着でした。



(市村記)